

人々の往来

律令国家となった日本において、人々はどのように行き交ったのか。これを①中央（都）②東アジア③地方（国）、以上3つの視点から見ていく。当時の平城京は国際都市として栄え、様々な国の人々がこの都市を訪れた。また、平城京を起点として日本各地に官道が走り、人や情報が以前よりも一層早く行き来した。

○奈良時代の都—元明天皇の代

●遷都

710年、⁽¹⁾ _____ から⁽²⁾ _____ に遷都した。

⇒(2) が都であった期間を奈良時代と呼ぶ。

◇(2) …唐の都長安をまねて造営した京

●条坊制

平城京は、大路に囲まれる区画が碁盤状に並ぶ。

→東西の区画の列を「1条、2条、3条…」と数え、

南北の区画の列を「1坊、2坊、3坊…」と数える。

⇒特定の区画を「○条×坊」と示す⁽³⁾ _____ の都であった。

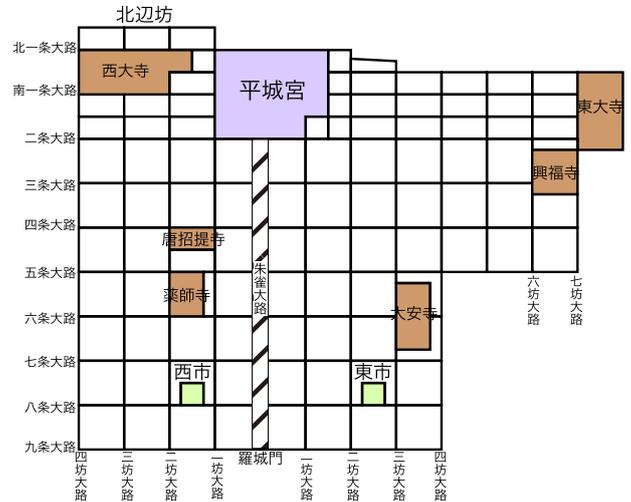


図1 平城京（斜線部：朱雀大路）

●市と銭貨

民衆や貴族・官吏が物を取引できる市を、右京と左京にそれぞれ置き、⁽⁴⁾ _____ が監督するようにした。

→ただし、多種多様な物を取引する都で、物々交換は大変難しい。

⇒「何か」に法的価値を与え、どんな物でもそれで交換すればよい。

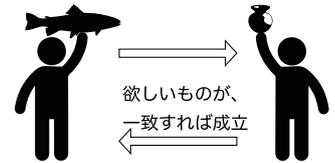


図2 等価交換

708年、⁽⁵⁾ _____ が武蔵国から銅が献上され、年号を和銅に改めるとともに、富本銭に続く _____ を鋳造した。

⇒しかし、売り手が(5)の価値を疑い、取引は成立しなかった。

711年、⁽⁶⁾ _____ が発令され、一定の銭貨を納入すれば、位階を与えるようにした。

⇒(5)は価値を認められたが、取引・流通は京や畿内に限られた。



図3 和同開珎



図4 乾元大宝

●12種の銭貨

銭貨偽造を防ぐため、10世紀までに計12種類の銭貨が次々と鋳造された。

⇒これら和同開珎から⁽⁷⁾ _____ までの銭貨を⁽⁸⁾ _____ と総称する。

○東アジアの交流

●遣唐使の再開

663年の⁽⁹⁾ _____ 後、日本は唐・新羅と関係を回復した。

⇒国内改革に追われ、日本から唐への遣唐使派遣はしばらくなかった。

↓

702年、遣唐使が再開され、以降ほぼ20年に1度の割合で派遣された。
 ⇒717年、後にたちばなのもろえ橘諸兄に重用された僧⁽¹⁰⁾ _____ と⁽¹¹⁾ _____ や、
 玄宗（唐の皇帝）に仕えて一生を終えた阿倍仲麻呂が派遣された。
 ◇遣唐使…894年、菅原道真の建議で派遣中止



図5 阿倍仲麻呂

●遣唐使の航路変更

遣唐使の航路は、当初朝鮮半島西岸を進む⁽¹²⁾ _____ をとった。
 →7世紀末以降、日本と新羅の関係が悪化した。
 ⇒東シナ海を横断する⁽¹³⁾ _____ をとった。

●渤海の朝貢

698年、まつかつ靺鞨族と旧高句麗の民が⁽¹⁴⁾ _____ を建国した。
 ⇒(14)は唐・新羅と対立したので、軍事上日本と友好関係を結んだ。



図6 航路

↓

(14)の使者は日本海を横断して日本海側に来着し、
のと能登国の能登客院や越前国の⁽¹⁵⁾ _____ に滞在した。

○地方の国

●国府の施設

⁽¹⁶⁾ _____ (国衙) …国内の役所、あるいはその所在地のこと
 国庁(政庁) …国府内の、国司が政務・儀礼をおこなう場
⁽¹⁷⁾ _____ …741年、聖武天皇が国分寺建立の詔を発して、
 諸国に建立した寺
⁽¹⁸⁾ _____ …(17)と同時に建立したにし尼寺
 ◇(17) …正式名称は「こんこうみょうしてんのうごこのてら金光明四天王護国之寺」
 ◇(18) …正式名称は「ほっけめつざいのてら法華滅罪之寺」

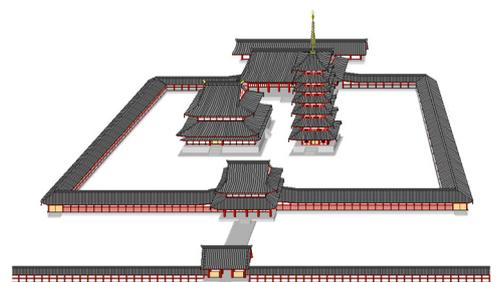


図7 国分寺

●交通制度

国家が管理する2種類の道があった。
 ①⁽¹⁹⁾ _____ …都とこくふ国府を結ぶ公用の道
 ②伝路…国府とぐうけ郡家、郡家と郡家を結ぶ道
 ⇒都の命令は(19)・伝路を通して伝えられた。

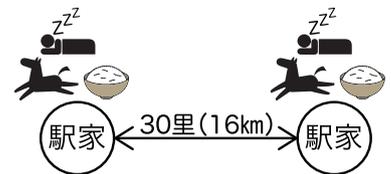


図8 駅家(駅)

↓

伝達者が休憩・交代、馬の交換をする場が必要であった。
 ⇒(19)では30里(約16km)ごとに⁽²⁰⁾ _____ を設置してえきうま駅馬を常備し、
 伝路では郡家につたわりうま伝馬を常備した。



図9 駅馬の利用に必要な鈴